

明石市立大蔵中学校だより「2021年12月6日(第141号)」

書あり 師あり 友ありて

剣道部男子団体準優勝で近畿大会出場へ ＝ 県中学校新人体育大会結果 ＝

学校長 平田 高之

すでに、HP「最近の行事」でお知らせしていましたが、剣道部男子が、11月20日に県立武道館で県大会団体戦に臨みました。2回戦和田山中学校、3回戦平木中学校に快勝し、4回戦姫路市立灘中学校にも競り勝ちました。準決勝の相手は東播新人優勝校の加古川市立平岡中学校でしたので、大将戦まで勝敗がわからない接戦の末、見事に勝利をおさめました。そして決勝戦の宝塚市立御殿山中学校との試合も接戦となり、1勝1敗で代表戦にもつれこみましたが残念ながら敗れ準優勝となりました。これにより、昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止となった近畿大会の出場権を見事に獲得しました。おめでとうございます。県大会2日目は男子個人戦でしたが、東播大会優勝の〇〇さんが見事にベスト4に入りました。今後も稽古に励み、近畿大会、また、来年度の総合体育大会でさらに力を発揮してくれることを期待しています。

女子ハンドボール部は、夏の総体に続き、新人大会でも東播代表決定戦を勝ち抜いて見事に県大会進出を果たし、本日、1回戦が行われました。神戸市の本庄中学校との対戦でしたが、相手の固いディフェンスに攻撃が封じられ、前半5対10、後半6対11、合計11対21で残念ながら敗れました。しかし、キャプテン〇〇さんを中心に、少ない部員数にもかかわらず1年生も含めてよく頑張り、本校では久しぶりの県大会出場を果たしてくれました。このチームはとても明るいとこが強みですが、今回の経験や悔しさを来年の大会に是非活かせるよう、日々の練習に向き合ってほしいと思います。

また、柔道部が昨日県新人大会個人戦に臨みましたが残念ながら初戦で敗れました。

18日から女子バスケットボール部が県新人大会に臨みます。山本が指導するようになり6年連続の出場となります。期待しています！



私たちも生徒に負けず勉強中です！

教員は、「教育公務員特例法」において、「その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。」とされています。本校の教育研究は、教育研究主任の山本を中心に、2年前から「生きる力」を育む授業づくりを目標に「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け授業改善に取り組んできました。

2年前には、環太平洋大学次世代教育学部長の長谷 浩也教授を講師にお招きし、夏休み中に新学習指導要領が目指す教育について講義を受け、11月に理科と数学の研究授業を行いました。また、特別支援教育及び道徳教育についても、大学教授など外部講師に来て頂き研究会を実施しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応のために、外部講師を招いての研究授業は道徳の授業だけとなりましたが、本年度は、道徳だけでなく教科の研究授業にも取り組むこととし、元神戸女子短期大学学長の長瀬 壮一先生をお迎えして、夏休みに講演会、そして、12月3日に校内研究授業を行いました。

3年1組で山本が英語を、1年3組で今井が理科を、事前に作成した学習指導案をもとに授業を行い、全員が分かれて二人の授業を参観したうえで、長瀬先生より指導助言と「深い学びにつながる授業」についてのご講演をいただきました。

長瀬先生からは、本校生徒の学習意欲の高さ、(手前みそですが)、授業者と生徒たちとの人間関係の良さや生徒同士の支持的な雰囲気、本校の研究に取り組む姿勢についておほめの言葉を頂いたうえで、「深い学び」を生み出す授業計画、授業改善の10の着眼点、そして、「深い学び」のための7か条等をご教授頂きました。

3学期には、1年生及び2年生で、外部講師をお招きしての道徳の校内研究授業を予定しています。教員の指導力向上はもちろんですが、教員が学び続ける後ろ姿を生徒たちに見せることで、学ぶことの大切さを伝えていけるよう、今後も校内研究を充実させていこうと考えております。

